

○ 本校の概要

本校は今年度、開校70年を迎える。全校児童574名、全19学級、教職員55名、特別支援教室の拠点校となっている。本校は、笑顔で光り輝くウェルビーイングな学校を目指している。ウェルビーイングは、身体だけでなく精神・社会面も含めた「新たな健康」を意味する言葉で、「経済だけでなく、生活の価値や評価、感情にまで至る」この「健康」を含めて捉える「新しいものさし」である。ウェルビーイングには、「パランスとハーモニー（調和）」が重要である。学習だけでなく「運動や健康、食事、人間関係などをパランス良く、さらに前向き（ポジティブ）に臨みながら、この「健康」を維持する。一昨年から始まった「矢口地域「笑顔」プロジェクト」を継続するなかで、「笑顔とあたたかさあふれる未来を創り出す力を育てる」ために、今年度も多摩川小学校から「笑顔とあたたかさあふれる矢口地域」を創造していく。地域を知り、地域を愛し、地域に貢献することでの育成を通じて、こどもだけでなく、おとなも「笑顔」になるような楽しい取組を通じて一人一人が考え、多摩川小学校「笑顔とあたたかさあふれる」を創造していく。地域を知り、地域を愛し、地域に貢献することでの育成を通じて、こどもだけでなく、おとなも「笑顔」になる

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

Table with 10 columns: 項目, 方向性, 取組内容, 取組目標, 取組状況, 目標に対する成果指標, 成果評価, 今後の取組, 学校関係者評価, 評価人数. The table contains detailed data for various evaluation items across different categories like '児童・生徒の個性を伸ばす', '学習指導', '安全管理', etc.

○ 成果評価は、各校が4段階で定めた成果指標によって行われ、A: 自己評価は適切である B: 自己評価はおおむね適切である C: 自己評価は適切でない D: 評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載する。
○ 記入あった項目は、各校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。
○ 学校関係者評価の「評価」は、A: 自己評価は適切である B: 自己評価はおおむね適切である C: 自己評価は適切でない D: 評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載する。